

事業所における自己評価結果

討議年月日:令和 5 年 3 月 9 日

公表:令和 5 年 3 月 10 日

事業所名 kids space リフライズ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・活動ごとにスペースを分けている ・利用者が多い日は公園などへ外出し、室内では落ち着いて過ごせるよう対応している	
	2 職員の配置数は適切である	○		・基準は満たしているが、送迎などで職員が少なくなる時間帯がある。その場合は、連絡がすぐに取れるようにし支援に支障がないよう対応している	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		・滑りやすいところは声掛けをし、室内は走らないように声をかけている	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・送迎前に送迎の確認と利用者の情報伝達を行っている。 ・日報やワークスなどで情報共有を行い、今後の支援に繋げている	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・毎年行っており、業務改善に努めている	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者による評価は現在していない。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・新人研修あり。研修の案内があればその都度連絡している		
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		・3~6か月に一度保護者様と面談を実施。 ・保護者様、支援員でこまめに情報共有し、支援内容の検討をその都度行なっている	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・職員間で話し合い、様々な体験ができるよう計画している	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・利用者の意見も取り入れながら活動を計画している	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			情報共有を密に行い、個別の課題に対応した計画を立てていく
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		・保護者からの情報、その子の活動状況に合わせて作成している	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・支援開始前にスタッフ間で情報共有する時間を設け、送迎時間・担当の確認、利用者の情報伝達、支援内容の確認を行っている	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・業務中の伝達、支援後に共有出来ない日は、日報やワークスで共有出来るよう努めている	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・支援後に情報共有し記録を行い、日報やワークス等で情報共有を行っている。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		・3~6ヶ月に一度モニタリングを行い、見直しを行なっている。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・児発管、管理者が出席している	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		・保護者、先生との連絡をとっている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		・利用者の情報共有は出来ている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		・必要に応じて行っていく。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○	○	・対象児童なし	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		・特に会には設けていないが、外出先での交流がある	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・送迎時の伝達、緊急性がある場合は電話で情報共有している	
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		・職員間で情報共有をし、対応を保護者様へお伝えしている	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・保護者参加のイベントを開催している	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・会報は発行していないが、ブログやラインでお知らせしている	
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			